

2025年度日系社会研修（多文化共生推進／日系協力型） 日系サポーター コース概要

N0	12
所管センター	沖縄
分野	教育・継承
研修コース名（日）	ウチナーネットワークを活用した日系レガシーの継承・普及啓発活動
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2026年2月28日（土）
提案団体（日）	一般社団法人世界若者ウチナーンチュ連合会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://wyua.okinawa/
研修員必要資格	・県系社会で沖縄文化活動に携わっている。 ・研修はすべて日本語でおこなうため、N3以上の日本語力且つ、研修中も意欲的に日本語を学ぶ者が望ましい。 ・アイデンティティーについて自身の経験をもとに語れる者。
研修員に必要な実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N3
ポルトガル語 スペイン語能力	ポルトガル語かスペイン語のどちらかが流暢に話せる。
研修目標	研修員がウチナーネットワークと沖縄の文化・習慣について理解を深める。
期待される成果 （習得する技術）	① 研修員に、世界のウチナーネットワークの全体像が理解される。 ② 研修員に、若者を対象にしたアイデンティティーの強化にかかる企画力が習得される。 ③ 沖縄県内での地域活性化事例を参考にし、研修員が、自国で適応可能なアイデアを考案する。 ④ 国内の日系人へ向けて、研修員自身が学んだことを共有する。

研修計画（内容）	1. 講義： ①沖縄の歴史 ②沖縄移民の歴史 ③世界のウチナーネットワークとは ④ファシリテーションとは ⑤企画作りとは ⑥しまくとうば（沖縄の言葉） ⑦情報発信 等 2. 実習・OJT：世界のウチナーネットワークに関するイベント企画・運営、情報収集、ソーシャルメディアを活用した情報発信 他 3. 見学：他団体の施設・活動（公的機関、民間） 4. 発表：内部
研修実施の背景／日本国内の中南米出身者のコミュニティにおける現状、多文化共生等課題解決を推進するにあたっての問題・現状等	現在、国内には出稼ぎや移住などさまざまな理由で、沖縄県系人が多く暮らしている。しかし、世代を重ねるごとに、沖縄の親戚との繋がりが薄くなり、沖縄への興味・関心を持つ人がだんだんと減少していくことが予想される。 海外の県系人と沖縄を繋ぐイベントは、近年多数おこなわれてきたが、日本国内の県系人または県人会と沖縄を繋ぐイベントは、多くはなかった。今後は日本国内の県系人や沖縄県人会と連携し、沖縄へ興味・関心を持ってもらう場をつくり、繋がりを強化していく必要がある。
本研修実施の意義 応募者への裨益効果	当該団体は、2011年に開催された「世界のウチナーンチュ大会」を機に設立し、ウチナーンチュネットワークの強化、アイデンティティの継承などを目的に2012年から18歳～35歳を対象とした「世界若者ウチナーンチュ大会」を開催してきた。今後も、ウチナーネットワークの更なる発展に向け、行政・民間企業等と連携していく。 本研修を実施することにより、世界のウチナーネットワークを通して日系コミュニティの機運情勢をはかる。また、ウチナーネットワークに関するイベントの企画・運営、講義・見学等に参加することで、コミュニティ運営及び沖縄の文化・習慣への理解を深めることができる。それらを活かし、沖縄と日系社会の繋がりを強化する役割を期待する。 従来型日系社会研修とコンビネーションしながら行うが、本研修では2026年1月～2月の間に、沖縄県にルーツをもつ日系人をターゲットとしたイベントを立案・実施する予定である。世代交代が進み、ウチナーネットワークだけでは無く日系人コミュニティも希薄化の一途を辿っている。しかし、研修で得た学びを日本全国の日系人へ還元することで、日系人の繋がりを再確認する。
応募希望者への特記事項	無し